



札幌・大谷地ターミナルからジェイ・アール北海道バスの南幌ビューロー行きに乗車。「17号橋」下車。約45分。

鶴沼霧氷コース(南幌町)

夏期にも紹介した南幌町。夏は運河やカントリーサイドを楽しむフットパスだが、冬は広い田畑の上を歩くことのできる絶好のフィールドだ。今回は、バス停17号橋の目の前にある、「南幌・食のパレット a・i・u・e・o」を起終点とした。長方形の周回と、その中の雪原を楽しむことのできるコースだ。周回コースは店舗前を南へ

遊



畑の大雪原 縦横無尽に

前10時頃まで霧氷を見ることが出来る。雪の中で見る霧氷はとても幻想的だ。ヤチタモの防風林沿いを西へ進む。一面の雪原が待っている。この周辺は海拔5〜6メートルで、鶴沼と呼ばれている。昔は湿地帯だったが、現在、沼はない。そばに旧夕張川が流れている。

南幌には、このほか鶴の里、鶴城と「鶴」とついた地名が幾つかある。タンチョウが飛来したことがあったようだ。



ウインター編

進む。左右は田畑で、この辺り一帯は白いトウモロコシで有名なピュア・ホワイトの産地だ。時折、キタキツネが歩いていることも。500メートルほどヤチタモの防風林に行き当たる。天気次第だが、ここでは午

ひと休み

《南幌・食のパレット a・i・u・e・o》
手作り菓子とパンの店。4年9月にオープンした。4時までなら飲食できる。店内にはトイレもある。営業は木・金曜日の正午〜午後時。☎011・378・2423



幻想的な霧氷が見られることもある

けば、道道栗山北広島線に行き当たる。その手前に農産物販売店「風蔵」があり、こののピニールハウスではジンギスカンパーベキューの予約も受け付けている。道道沿いを南幌市街地の方へ進めば、起点にたどり着く。

雪原は右狩平野の真ん中に出来た雪のキャンパスのようだ。縦横無尽に歩き回って、雪の感触をたっぷり楽しんでみよう。

かんじきは秀岳荘(札幌市)で購入できる。札幌本店(☎011・726・1235)では地方発送もしている。スノーシューはアウトドアショップやホームセンターでも置いてある。
(エコ・ネットワーク 小川浩一郎 ☎011・737・7841、Eメール eco@hokkai.or.jp)